

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 元 年度『学校だより』

第17号 R元, 12, 16

校 長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

全校集会

12日（木）の朝の時間に、久しぶりに体育館で「全校集会」を行いました。

はじめに、10月から今月までに、表彰された児童の紹介を行いました。「国語関係」「理科関係」「図画工作関係」「体育関係」「福祉作品展」「その他の表彰」合わせて、60件もの表彰がありました。まさに大活躍の2学期でした。

その後、校長先生のより、『有終の美』という言葉を提示し、「まとめの学習をしっかり行い、『自信を持って』新年を迎えることが出来るようにしましょう」という話がありました。



体育館耐震工事

6月から行っていました体育館の「耐震工事」が終了し、その使用が再開されました。工事の内容は、外側の体育館を支える柱の補強と体育館窓枠に「耐震筋交い」を設置しました。

体育館は、学校の教育活動だけではなく、地区の社会教育にも活用され、さらには、非常時の「避難所」となるため、より安心して使用することができます。

現在、校舎屋根の防水工事、トイレの改修工事が行われていて、第三小学校の環境がどんどんよくなっています。



研究公開

先月11月22日（金）に、「教育研究公開」を行いました。

県内外からの教育関係者、更に、地区の皆様、保護者の皆様合わせて約200名の参加者が、第三小学校の授業実践、そして音楽集会を参観しました。

子ども達は、今までの学びを生かして、堂々と発表したり、友達と考えを深める話し合いをしたりすることができ、参観者の方々から、子ども達の姿が素晴らしいと数々の感想を頂きました。

遅くなりましたが、PTAの本部役員、学年委員の皆様、朝早くからこの研究会の成功のためにご協力頂いたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

※ 教育活動ではないのですが、
「愛誠勇」のお便りの裏の子育て、
教育に関する資料を読んでも、
次年度も続けていたかったです。
（教育に関するアンケートの自由記述欄より）貴重なご意見ありがとうございました。

子どもはSOSがうまく言えない。

いじめや不登校につながる悩みなど、子どもが心の問題を抱えたとき、それは、しばしば身体的なサインとなって現れます。

腹痛・吐き気・下痢・食欲不振・めまい・頭痛・発熱といった症状や過食・拒食・不眠といった行動などさまざまなサインがあります。サインに気づいたら、病気だと心配するだけでなく、心の問題が背景にないか考えましょう。「気のせいだ」「わがまま」「ズル休み」というような言葉で片づけず、様子をよく見、話をよく聞き、理解しようとする姿勢が大事です。

また、かかりつけの医師や学校の先生にもよく相談してみましょう。

からだ
心理的な問題による身体・行動のサインの例

身体：腹痛・吐き気・下痢・食欲不振・めまい・動悸・頭痛・発熱・倦怠感
行動：過食・拒食・不眠・ヒステリー

子どもの身体や行動に現れるサインを見逃さない

万引きはゲームじゃない、犯罪だ。

「スリルや刺激を求めて」「ゲーム感覚で」「仲間がするから」といった理由で万引きなどの非行をする子どもたちがいます。しかも、その多くは「悪いことをしている」という罪悪感がほとんどありません。

親は「悪いことは悪い」とはっきり言い、万引きや自転車泥棒などはれっきとした「犯罪」であることを子どもにしっかり理解させましょう。

また、子どもが万引きなどをしてしまったときには本気で叱り、子どもとともに迷惑をかけた人にきちんと謝るなど、子どもが心から反省し、二度としない決意をするように促しましょう。

刑法犯少年の補導人員

9万966人（平成20年、前年比11.9%減）
少年人口千人当たり約12.4人

資料：「警察白書」平成21年・警察庁

万引き、盗みなどの非行を許さない